

超耐熱ABS樹脂と越前塗りの技法を併用 美しく割れにくい 純日本製食器で食卓に彩りを

丸泉漆器店

丸泉漆器店(世田谷区等々力、貨泉秋男社長、03・3704・2608、<http://www.marusensikiten.com>)は、開業当初、木製の割烹商品からプラスチック製商品への切換に力を入れていたが、プラスチック商品の需要が拡がるにつれ病院や老人保健施設・社員食堂などにもご利用いただけるようさまざまな食器を製造販売するようになって35年が経つ。

近年、病院や施設での食事の提供には適時適温が重要視され、食事をすることの大切さとともに食器の重要性も見直されてきている。

同社の食器は、超耐熱ABS樹脂を使用しているため、非常に軽く割れにくくなっている。さらに、福井県鯖江市越前塗りの技法を採り入れ、高級感をプラスしたオリジナル製品である。

同社食器は現在、業務用のみ展開しているが、今後は一般の家庭



塗りの工程は、職人が一つひとつ手作業で行っている



電子レンジが使用できる日本初・塗り物の椀

の皆様にも幅広くお使いいただけるように、日本で初めて電子レンジが使用可能な塗り物の食器を開発した。熱伝導率が低い超耐熱ABS樹脂の特長を活かし、電子レンジで温めても器自体が陶器などよりも熱くならないので、すぐに素手で持つことができる。また、軽くて床に落としたりしても割れない同社の食器は、破片の飛散や、それによるケガの心配がないため、お子様のいるご家庭でも安心して使っていただけ。

この画期的な食器で、一般家庭の食卓や社員食堂にも笑顔で楽しい食事の時間が増えることを期待し、またさらにより良い製品をご提供すべく日々努力を続けていく。